



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure,
Transport and Tourism

**S61.8 洪水から30年
～逃がす・防ぐ・取り戻す～**

記者発表資料

平成28年 7月11日
福島河川国道事務所

6年連続 荒川(福島市)が「水質が最も良好な河川」 ～平成27年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果から～

国土交通省では、昭和33年（東北地方：昭和35年）から一級河川（大臣管理区間）において水質調査を実施しています。

平成27年（1月～12月）の水質調査結果が発表（7月11日）され、荒川が6年連続で「水質が最も良好な河川」になりました。

荒川の水質 ●BOD※平均値 H27：0.5mg/l （H26：0.5mg/l）

【水質調査対象河川の条件と評価基準】

■以下の条件を満たす163河川のうち、各調査地点のBOD年間平均値が0.5mg/l（環境省が定めるBODの報告下限値）であるものを、平均的な水質が最も良好な河川としています。

- ・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点が2つ以上ある河川。
- ・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね10km以上で、かつ調査地点が2つ以上ある河川。

注）荒川：直轄管理区間延長13.0km、荒川橋と信夫橋の2地点で測定。

■BOD（生物化学的酸素要求量）の年平均値を用いて、各河川毎に全ての調査地点を平均した値で評価します。

6年連続で「水質が最も良好な河川」となれたのは、流域の皆様の河川愛護のおかげだと思われま

す。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

◆過去の水質データは、「水文水質データベース(<http://www1.river.go.jp/>)」で公開しています◆

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ >>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島市黒岩字榎平36番地

TEL 024 (546) 4331 (代表)

副所長（河川） さとう かつみ 佐藤 勝美（内線204）
ひらだて じゅんいち

河川管理課長 平館 淳一（内線331）

【参 考】

※BOD（生物化学的酸素要求量）

水の汚れ（有機物）が微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のこと、河川の水質を示す代表的指標値として使われます。数値が大きいほど水質が汚れていることを示します。

BODに関する水質分析は、最小値を0.5mg/lとして分析をするため、もっともBODの小さい値は0.5mg/lとなります。

※国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表しています。